

第2学年B組 生活科学習指導案

授業者 嶋崎 裕子
研究協力者 中野 良樹

1 単元名 きらっと やさい名人！

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

子どもたちが1年生のときには個人でアサガオを育てたり学級の花壇で様々な花を育てたりしてきた。ゲストティーチャーから教えてもらった世話の仕方（土が乾いていたら水をかけること・つるが伸びてきたら肥料をあげ支柱を立てること）で長期にわたって世話をすることができた。水やりも友達に声をかけながら行うなど、どの子どもも愛着をもって世話をしていた。また、2年生になり縦割り班活動でベゴニアを植え、一人一人が植物にも人間と同じように命があることを実感し、必要に応じて水やりや草取りなどの世話をしている。家庭では、32人中10人程度が家で野菜を育てている。しかし、主に世話をしているのは母親で、野菜栽培は身近なものではない。自分で育ててみたい野菜について3年生や家族にインタビューをし、育てやすさや世話の仕方などについても考えることができた。しかし、それぞれ育てたい野菜が違うため成長の仕方、世話の仕方についても個々の知識やとらえが異なっており、育てていく中で成長の様子などを比較しながら共通の知識にしたいと考える。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（7）「動植物の飼育・栽培」を受けて設定した。1年生では草花を育てたので2年生では収穫できる野菜の栽培を行う。そのきっかけとしてたくさんの野菜の成長について話し合うことでアサガオと比べた成長についての疑問をもつと考える。そこから野菜を育てた経験のある3年生や家族に聞き、自分の育てたい野菜を決定する。育てていく中で分かったことなどについて友達と話し合う活動を通し、それぞれの野菜の成長の共通点や相違点について気付くことができる単元である。また、野菜の栽培は難しいため、本や資料で調べたり、家族に話を聞いたりすることで子ども自身が自分なりに疑問を解決できたという達成感を味わうことができる。継続して野菜の栽培をすることで、成長の変化をとらえ、世話の仕方などで発見したことを共有したり発信したりし、自分のかかわり方のよさに気付いていくことができると考える。また、継続的に世話をすることで植物の命について考え、大切にしていける心を育むことができると思い本単元を設定した。

(3) 指導について

単元の導入では、植物を育てる生活経験をもとにした話合いをきっかけにして、子どもたちは自分の育てたい野菜を購入し一人一鉢栽培する。自分で育てたい苗を選んだり、野菜に名前を付けたりすることで、愛着をもって育てることができるようにする。世話の仕方や育てるときに気を付けることなどについて、栽培経験のある3年生や家族に聞く活動を取り入れる。今まで水やりと肥料をあげることが世話だと考えていたことが、それだけではないということに気付くことができるよう野菜の先生に来てもらい世話の仕方を教えてもらう。様々な野菜の種や苗を調べるときには対象とより深くかわれるようにルーペを用意し、いつでも観察が行えるようにする。また、教科書だけでなく野菜の育て方に関する図書を多くそろえ、育て方や世話についての情報を取り入れやすくする。

本時では、それぞれの野菜の成長や野菜の先生からどんな世話のヒントをもらったのかを発表する場を設定する。発表するための視点（くきの長さ・花の色や数・葉の数・つるの有無など）を提示することで思考しやすくする。また、子どもたちが出した考えを共有できるようにするため構成的な板書を行う。野菜の先生から教えてもらったことを生かして、自分が行ってきた世話について振り返る時間を設け、野菜をおいしくする世話についてまとめることで、それぞれの野菜に適した世話の仕方があることに気付かせたい。野菜の先生から教えてもらった世話は、とっておきの育て方の技となる。

単元のまとめでは、それぞれの野菜の成長やそれに伴う変化についてまとめる活動を行う。また、それぞれの野菜の成長が実感できるように同じ野菜グループで野菜名人発表会をする。

この単元を通して、育てる野菜によって成長の仕方や世話が異なることや共通することに気付くであろう。このように、友達との意見の交流を通し野菜の成長を考え、成長にあった世話をしたり、成長の変化を表現したり発信したりし、気付きの質を高め意欲をもって最後まで取り組む姿勢をもつことを新たな価値と考える。それぞれの野菜の成長に着目し、成長にあった世話について比較していく「見方・考え方」を働かせた学習活動を、継続的な栽培の中に常に位置付ける。

3 単元の目標（記号は本校の資質・能力表による）

- (1) 野菜を育てることに、愛着をもち大切にすることができる。 (キ-1・2)
- (2) 育てたい野菜を繰り返し観察し、自分なりの思いや願いをもって進んで野菜とかかわり、成長の様子や育てる喜びについて表現することができる。 (カ-1・2)
- (3) 野菜の育つ場所の変化や成長の様子に関心をもち、成長に合わせた世話をを行うことで、命をもっていることや成長していることに気付くことができる。 (キ-5, b4・8)

4 単元の構想（総時数 11 時間）

時間	学習活動	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)		
1	(1) 春から栽培する野菜について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の時の経験や3年生へのインタビューから育てる野菜について話し合うように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な野菜の成長について話し合い、進んでかかわろうとしている。(カ-2・キ-2) 		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">学習課題</td> <td style="text-align: center;">いろいろな野菜のひみつを見付け、おいしい野菜を作ろう。</td> </tr> </table>				学習課題	いろいろな野菜のひみつを見付け、おいしい野菜を作ろう。
学習課題	いろいろな野菜のひみつを見付け、おいしい野菜を作ろう。				
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	<p>(2) 自分が育てる野菜の苗を植え、気付いたことを話し合う。</p> <p>(3) 育てたい様々な野菜の種を調べる。</p> <p>(4) おいしい野菜に育てるためのヒントを野菜の先生から聞く。</p> <p>(5) 教えてもらったヒントをもとに野菜の世話をする。</p> <p>(6) 教えてもらったヒントをもとに育てた野菜の成長の様子を発表し、世話のとおきについて話し合う。</p> <p>(7) 「きらっとやさしい名人カード」をふり返り、成長についてまとめる。</p> <p>(8) まとめたものをもとに「キラッと野菜名人発表会」を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が育てる野菜の苗を植え、葉の形・におい・触った感じなど五感を使って調べ、様々な野菜の特徴についての気付きを交流できるように、十分な時間を設ける。 様々な種を実際に手に取り、特徴を比べることで、自分の育てたい野菜についての思いを、高めることができるようにする。 おいしい野菜に育てるためのヒントを野菜の先生から聞くことで、自分の野菜の世話を、見直すことができるようにする。 教えてもらった世話の仕方をそれぞれの野菜で体験できるように、野菜ごとの世話の仕方の掲示の工夫をする。 教えてもらったヒントをもとに、世話をした野菜の成長の様子を発表し合い、今後の世話の仕方について相違点や共通点を明確にする。 収穫の喜びや気付いたことについてまとめる時の助けとなるように、野菜の成長過程の写真・野菜観察カードを用意する。 それぞれの野菜の成長や成長にあった世話について実感できるように、同じ野菜グループで発表方法を工夫できるようにするとともに互いの気付きを交流できるよう質問タイムを設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いや願いをもち、大切に野菜の苗を植え、観察し気付いた特徴などについて話し合うことができる。(カ-1, キ-1・2, b-4) 様々な野菜の種を比較し見付けたことや気付いたことなどについて話し合っている。(キ-1・2) 野菜を育てることに愛着をもち、自分の野菜の世話を見直すことができる。(キ-1) 野菜への愛着をもって、世話をすることができる。(キ-1・2) 野菜の成長の様子を発表し合い、今後の世話の仕方について考えることができる。(キ-5, b-8) 収穫での気付きや喜びを様々なかたちで表現している。(カ-1・2) 収穫できるまで大切に自分の野菜の成長を見守り世話を続けてきた頑張りに気付き、野菜の成長についてまとめている。(キ-5, b-8) 		

5 本時の実際 本時 (7/11)

(1) ねらい

野菜の先生から聞いたヒントで育てた、それぞれの野菜の成長の様子を発表し、世話の仕方について共通点・相違点を見付け、今後の世話について具体的な見通しをもつことができる。

(2) 展開

○：「仲間との対話」を通して新たな価値を創造するための手立て

時間	学習活動	教師の支援 評価
5分	<p>① 本時の学習のめあてを確認し、活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">もっとおいしい野菜になるように、お世話のとおきを見付けよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を生かし見通しをもって本時に臨むことができるように、本時の学習の流れを確かめる。
30分	<p>② 野菜の先生から教えてもらった世話のヒントをもとに栽培した、自分の野菜の成長について発表する。</p> <p>【自分との対話】 ⇄ 【仲間との対話】 (予想される子どもの反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> トマトやミニトマトを大きく育てるために脇芽を取ったよ。そしたら、大きい実がなってきたよ。 トマトやミニトマトは支柱を立てると背が伸びても倒れないと聞いて立てたら、折れずに伸びていったよ。 支柱が必要なのはピーマンやシントウも同じだよ。 ナスは、下の葉が枯れてくると病気になるやすいから、下の葉を取ったら病気にかからなかったよ。 どの野菜もおいしくなるように、日当たりがいいところに置いて、途中でアサガオのように追肥をしたらしいんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの継続的な成長の記録を活用しながら伝え合いができるように、成長記録を掲示しておく。 ○ 野菜の先生から教えてもらったことを、生かしながら育ててきたそれぞれの野菜について、比べ方の視点（くきの長さ・花の色・葉の数・つるがあるかないかなど）を与えることで、共通点や相違点についてまとめやすくする。 それぞれの野菜の世話の仕方について実物の野菜鉢を使って説明することができるように、育てている鉢を準備する。 世話の仕方について自分の考えがもてない子どものために、同じ野菜を植えた子どもたち同士で、情報交換ができるよう座配の工夫をする。 それぞれの野菜に適した世話の仕方があることに気付かせ、それぞれの野菜のこれからの世話について考えることができるような場を設定する。
10分	<p>③ 本時の学習をふり返り、野菜がよるこぶ世話について、自分の思いを書き次時への見通しをもつ。</p> <p style="text-align: center;">【自分との対話】</p> <ul style="list-style-type: none"> キュウリのひげが出てきたら、アサガオのように支柱を立てるといいんだよ。 いろいろな野菜はあるけれど、肥料をあげる時期や量が違うから、私のトマトにも時期をみて肥料をあげよう。 野菜名人にまた一歩近づいたね。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">それぞれの野菜の成長の様子を比較し、世話の仕方について共通点・相違点を見付け、自分の思いを生かしながら、もっとおいしい野菜を作るための世話について具体的な見通しをもっている。</p> <p style="text-align: center;">(キ-5, b-8) (学習シート, 行動観察, 発言)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動の頑張りについて称揚するとともに、これからも継続的に野菜がよるこぶ世話をし、おいしい野菜作りへの意欲を高めるようにする。

(3) 「仲間との対話」を通して新たな価値を創造する子どもの姿

《学習活動②》において

子どもの姿

- ・ 野菜の先生から聞いた世話のヒントをもとに、自分の野菜を育てている。他の種類の野菜の成長にはそれほど興味をもっていない。
- ・ 虫に食べられた所や病気を見付け、どうしたらよいか不安に思っている。

【学びを深める
「見方・考え方」】

野菜の成長の様子に着目し、それぞれの世話の共通点や相違点を比較しながら考える。

【協働して追究する「問い」】

「それぞれの野菜をおいしくする世話は、どんな世話がいいかな。」

【教師の手立て】

- ・ 野菜の先生から教えてもらったことをヒントに育ててきた野菜について、比べ方の視点（くきの長さ・花の色・葉の数・つるがあるかないかな、）を与えることで共通点や相違点についてまとめやすくする。
- ・ 出された共通点や相違点について、比較・分類しやすいように構成的な板書を行う。
- ・ 友達の発表から得た情報をもとに、もっとおいしい野菜を作るための世話について発表し、それぞれの野菜にあった世話があることに気付けるように全体で共有していく場を設定する。

仲間との対話

- ・ わき芽を取る場所を教えてもらって、実際に取ってお世話をしたら実がたくさんついてきたよ。それが私のとおきの世話だよ。
- ・ トマトやミニトマトは支柱を立てて、わき芽取りをすると大きくなるよ。このわき芽を植えたらどうなるのかな。
- ・ ピーマンやシシトウには、トマトと同じように支柱が必要だよ。
- ・ ナスは、下の葉が枯れてくると病気になりやすいから、下の葉をとるんだよ。そうすると病気にならなかったよ。
- ・ どの野菜もおいしくなるように、日当たりがいいところに置いて、途中でアサガオのように追肥をしたらいいんだね。
- ・ キュウリやオクラは虫がつきやすいから、虫がつかなくするための世話についても教えてもらってお世話をしているよ。
- ・ ぼくのピーマンの〇〇ちゃんに声をかけて、大切に育てていたらおいしくなりそうだよ。アサガオの時みたいに優しく声をかけるよ
- ・ たくさん実がなって大きく育ったら、野菜の先生みたいにぼくも野菜名人だね。

目指す
子どもの姿

- ・ 友達の野菜の発表を聞き、もっとおいしい野菜にするための世話の仕方について明確な考えをもっている。
- ・ 考えた世話を、同じ野菜を育てている友達と声をかけ合ってできるようにする。
- ・ 毎日の世話だけでなく今までの成長についても考えながら、収穫のよろこびを期待して活動しようとしている。